

平成 29 年度 記者懇談会（第 6 回）の記録

日 時 平成 29 年 9 月 26 日（火）午後 4 時 00 分

場 所 水道庁舎 4 階 会議室

記者数 5 人

同席者 飯川副市長、天野副市長、総務部長、生涯学習・文化・スポーツ振興課長

次 第 1 ウィルチェアラーラグビー日本代表の岩見沢合宿について

2 その他について



1 ウィルチェアラグビー日本代表の岩見沢合宿について

説明内容

(市長)

それでは、お願いします。ウィルチェアラグビー日本代表チームの岩見沢合宿についてでございます。

昨年のリオデジャネイロパラリンピックの銅メダルを獲得した、ウィルチェアラグビー日本代表チームが、岩見沢市で強化合宿を行うこととなりました。

同代表の公式な岩見沢合宿は、初めての実施となるところでございます。

合宿期間は、9月30日、今週の土曜日から10月8日、日曜日までとなっておりますが、実際に練習を行う日程は、10月1日から7日の土曜日までの7日間ということでございます。

合宿に参加される方々は、選手とスタッフの合計で約30名、北海道教育大学岩見沢校の第3体育館を練習会場とし、宿泊先は市内2施設のほか札幌市内のホテルに宿泊する予定でございます。

期間中のスケジュールでございますが、資料のスケジュール表に記載のとおりでございますが、主な日程としては、10月2日、月曜日の9時30分から歓迎セレモニーを第3体育館で行います。練習の一般公開は、6日と7日の2日間、それぞれの時間帯で予定をしているところでございます。なお、申込み等は不要で自由に見学をしていただくこととなっております。

また、体育館アリーナの床清掃を、練習最終日の7日、土曜日に予定しております。松ヤニの拭き取り作業を行うボランティアを募集するところでございます。募集人数は40名程度を予定し、ご参加いただける方は、10月5日までに担当までにお申込みをお願いするところでもございます。なお、参加者には記念品、リオのパラリンピックの銅メダル記念ストラップの予定でございます。選手から直接プレゼントされるということでございます。

以上でございます。

質疑応答

(北海道新聞)

今回の日本代表合宿にどんな点に期待をされますか。

(市長)

次の東京パラリンピックでの活躍が期待されるチームですし、岩見沢で整った練習環境の中で成果を上げて、2020年のパラリンピックに備えていただきたいなと思います。

(北海道新聞)

市民への公開も行われるということですが、そのあたりの効果は。

(市長)

パラスポーツ全般について、ウィルチェアラグビーだけではなくて、先般も池崎選手は「ガチパラ!」ということでイベントをやりましたけれども、そういうウィル

チェアラグビーをはじめそういったものが、広く浸透する意識を深めていただくような、また交流が深まるような契機になればと思っています。

(北海道新聞)

練習を公開するということですが、市民と触れ合う機会というのは設けられるのでしょうか。

(市長)

今回はかなりトレーニング専用の日程が組まれているようでして、その中で一般公開の練習で市民との交流ということでございます。

(北海道新聞)

市内のホテルはバリアフリーが進んでいないということでしたけれども、選手たちは札幌に泊まるということでしょうか。

(市長)

選手の皆さんの状況に応じて、札幌に泊られる方と岩見沢に泊られる方。

(生涯学習・文化・スポーツ振興課長)

日によってそれぞれ札幌に泊られる方と岩見沢に泊られる方の人数にバラつきがあるんですけれども、初日9月30日と言えば、札幌に泊られる方が選手・スタッフ合わせて9名、岩見沢に泊られる選手スタッフは16名という予定になっています。

(北海道新聞)

総勢が30名で選手が14名ということですね。

(生涯学習・文化・スポーツ振興課長)

選手については14名なんですけれども、スタッフの方が入れ代わり立ち代わり来るものですから、大体延べでいくとスタッフ総勢16名くらいいらっしゃるということで、総勢約30名というお話でございます。

(北海道新聞)

前回のカナダの時は良い返事がもらえなくて残念でしたけれども、今後の海外の誘致の進め方というのを検討されていましてら教えていただきたいのですが。

(市長)

カナダチームは残念な結果でしたけれども、チームによっては何を求められるのかというのがいろいろ違いますから、そういったことで参考になればということで、カナダチームにも選考理由等々についても、今後の参考のためにもお聞かせいただいていますし、そのことを踏まえて、教育大学と連携をしてどのチームということについては、今後とも行っていくこととしていますけれども。日本代表チームが来てくれるというのは、それはそれで大変大きな影響です。

(北海道新聞)

一般公開は7日ということですが、1日の練習日は報道陣には公開されるのでしょうか。

(生涯学習・文化・スポーツ振興課長)

チームの意向としては、特に見学等の制限は無いという話は聞いています。受付等の関係がありまして今回6、7日というふうに一般公開を限定させていただきましたが、報道機関の方には特に取材を断るということは無さそうです。

2 その他について（記者からの質問）

質疑応答

（北海道新聞）

庁舎建替えの件ですけれども、9月1日から順次、市内団体等との意見交換というのを進められているところで、公開しているところとそうでないところがあるようですけれども、現時点で市内団体からどんな要望がきていて、それに対して市としてどうお考えになっていらっしゃるのかと、今後10月末までに建設地決定となるスケジュールを教えてくださいと思います。

（市長）

まだ意見交換会ということでいろいろ意見をお聞きしている段階ですので、その事に対して市役所でこうというのは。その中で場所ですとか安全性ですとか、いろんな観点で議論が出ていますので、それを踏まえて最終的に判断をさせていただきたい。10月末までということです。

（北海道新聞）

各団体から承った要望というのは、ある程度まとまった段階で公表される方向だと伺っているんですけれども、だいたいいつ頃ですか。

（飯川副市長）

10月に入って何らかのかたちでは公開したいと考えています。

（総務部長）

目標としては10月の上旬を考えていますね。

（市長）

選挙があるからね、せいぜい中旬くらいにしておけば。

（HBC）

衆議院選挙の選挙事務の関係なんですけど、今回急に決まったものですから、各市開票所や投票所が用意できないとかという問題が起きているようですが、岩見沢市さんは選挙事務に関しては10月22日の準備に関しては大丈夫でしょうか。

（市長）

直接報告は聞いていませんけれども、淡々と準備していると思いますけれども。選挙管ですから。

（HBC）

Jアラートの関係で先日訓練をやりましたが、道の方で毎月同じようにJアラートの訓練を各自治体向けにやると、このあいだ発表になったのですが、岩見沢市としては今後そういったかたちで再びやるというお考えはあるのでしょうか。

（市長）

いずれにしても対応は国、道としっかり連携してということがベースになりますから、具体的なお話があれば対応していくことになるかと思っています。

（総務部長）

メールが来ていたようなんですけれども、新聞で報道されている内容と一緒になんですけれども、その関係で再度北海道の方には、どのような中身の訓練になるかというところでの詳細の確認をしている最中でございます。

(注) 記録の内容については、重複した言葉遣いや、明らかな言い直しがあったものなどを整理した上で作成しています。(作成：岩見沢市秘書課広報係)